

ドラレコを有効活用

越野運送 無事故継続への挑戦

【大阪】越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)は長期に渡って安定した企業を目指し、安全教育サイクルを構築し、無事故継続への挑戦を続けている。

最新の安全機器をうまく活用して事故を減らす取り組みでは、「ドライブレコーダーを導入するには社員の理解も必要」とし、「ド

ライバーは監視されていると思うかもしれないが、従業員と会社を守るためと理解してもらっている」と、会社が一体となって一つの目標に取り組む重要性を強調した。

また、導入しただけでは事故は減らないと指摘。機器で映像を残すことはできるが、そ

れをいかに管理して活用していくかが課題。最終的には機器ではなく管理職がコミュニケーションを図りながら指導し、安全サイクルとして生かしていくと強調。

過去に自社が被害者となった交通事故で、映像などがなかったため裁判になったケース

越野社長



もあり、時間のロスなどを考えれば、事故原因が明確になる映像がほしいと考えていた。車内、車外、バックカ

も、時間ロスなことを考えれば、事故原因が明確になる映像がほしいと考えていた。車内、車外、バックカ

も、時間ロスなことを考えれば、事故原因が明確になる映像がほしいと考えていた。車内、車外、バックカ

(中村優希)